

2024 年3月28日
一般財団法人自転車産業振興協会

2024 年 TAIPEI CYCLE（台北国際自転車展覧会） 日本パビリオン出展報告

当会は日本自転車産業における貿易促進のため、2015年より台湾台北市で開催されている台北国際自転車展覧会において出展企業を募集の上、経費面での補助のほか出展に係る諸手続き並びに現地でのサポート等、共同出展事業を実施しています。

1) 展示会概要

名 称： 2024年TAIPEI CYCLE（台北国際自転車展覧会）
会 期： 2024年3月6日 ～ 3月9日(4日間)
場 所： 中華民国台北市 南港展覧館1号館、2号館(TaiNEX1 & 2)
主催者： 中華民国對外貿易發展協會（TAITRA）
出展社数： 約950社(約3,500小間)

2) 展示会概要

「TAIPEI CYCLE」はアジア最大の自転車産業展示会であり、最先端の先進的な自転車企業の最先端技術や製品が展示される、まさに自転車業界にとって世界的大イベントとなります。35周年を迎えた本年は約950社3500のブースが参画、2万人以上の来場者が訪れ、そのイベントの規模は2023年と比較して15%近く増加、コロナウィルス蔓延前と比較しても約5%増加しています。

同時開催となった TaiSPO(スポーツ・フィットネス業界向け展示会)の出展規模は205社、約850小間となりました。主催者は、2つの見本市を合わせると80か国・地域から4,000人のバイヤーが参観に訪れ、それによって創出される商機は過去最多になると公式ホームページで述べています。

今年から展示会全体で、「マイクロモビリティ」、「グリーンアクション」、「スタートアップとイノベーション」、「サイクリング文化とライフスタイル」の4つのテーマが設定され、持続可能な業界の発展のために様々なセミナーやテーマに即した展示が実施、また昨年に引き続き e-bike 商材にフォーカスが当てられ、2号館4階では e-bike に特化した試乗コース付の展示スペースが設けられました。

1号館1階は中国、台湾の地元企業の展示、1号館4階は日本パビリオンを含む国別パビリオン及びインターナショナル自転車企業に割り当てられました。



1 号館エントランス



1 号館アワード紹介



1 号館外観



2 号館外観

3) 日本パビリオン概要

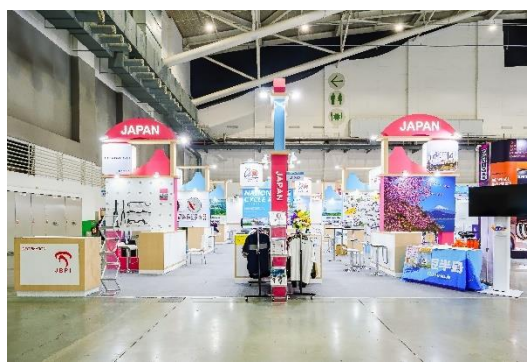
15社/団体(詳細は、本報告最下部2024 年度共同出展社一覧参照)が日本パビリオンに参画、過去最大規模となる 24小間(216 m²)を確保、これは昨年比約 30%の出展規模拡大となり、台北展示会では初となる日本パビリオン単独でのアイランド(島式ブース)形式での出展となりました。

また、日本パビリオン運営と並行して、2024 年9月に開催する業界最大規模の B2B 展示会、「Japan Bike Show」の海外企業向け広報活動を実施。パビリオン内に設置したインフォメーションカウンターにてパンフレットを配布し、中国・台湾を中心とした海外企業、業界関係者に対して出展/来場 PR を行いました。

日本パビリオンの出展位置は、欧州(EU)パビリオンと隣り合わせの 1 号館 4 階中心部メイン通路沿いの好立地を割り振られました。開放感を全面に押し出した「オープンエリア」と、従来の3面壁面で独立性を保った「個別エリア」を組み合わせた新たな設計とし、観光ツーリズムPRを目的とするライトユーザーをターゲットとした団体にはオープンブースを、じっくり商談を行いたい自転車企業には個別ブースを割り当てるなど、目的に応じたブース作りを行いました。またパビリオン内に出展者専用の倉庫を設置した他、展示会場内に休憩/商談ルームを用意し、出展社がメリハリをつけた接客をできるようサポート体制を整えました。



オープンエリア_1



オープンエリア_2



個別エリア_1



個別エリア_2



出展者専用休憩/商談ルーム_1



出展者専用休憩/商談ルーム_2

5)共同出展社の様子

日本パビリオンは、日本に本社のある自転車関連企業と National Cycle Route の世界的 PR を目的とした国土交通省を中心としたサイクルツーリズムの各自治体で構成、自転車関連企業は自転車主要部品(ハンドル、ステム、ペダル等)や折り畳み自転車、ウェアやキャップ等の自転車アパレル用品、サイクルスタンド、チェーンオイルなど多様な企業が継続・新規含めて11社参画。海外での日本製品の安定した人気から、多くの活気ある商談が行われました。

観光PRを主とする国交省および各自治体のサイクルツーリズムは4団体が参画、現地の風景映像や種類豊富なノベルティを使い積極的なインバウンド招致活動で多くの集客を

見せていました。ここでの集客の流れが自転車関連企業にも影響し、相乗効果でパビリオン全体に多くの来場者がありました。

オープンエリアに参画した静岡県の例でみると、これまで 200-300 名のフォロワーの SNS アカウントが、TAIPEI CYCLE にて約1,000 名を超えるフォロワー獲得に成功。展示会前と比べて 5-6 倍の数値になったことで、日本パビリオンの活況ぶりがお分かりいただけるかと思います。

当会のインフォメーションブースでは、「Japan Bike Show」のチラシを約 300 部配布。欧州や台湾の自転車関係団体、メディアへの周知協力、海外自転車関連企業への出展・来場 PR を積極的に展開し、好感触を得ることができました。



日本パビリオン出展社



オープンエリア商談風景_1



オープンエリア商談風景_2



個別エリア商談風景

6)次回開催予定

次回は2025 年3月 26 日～29 日の4日間、同会場で実施予定と発表がありました。当会として今後も日本自転車中小企業の輸出促進に向けて、同展示会への支援活動を継続していく予定です。

2024 年度共同出展社一覧(15 社/団体)

会社名	主要展示商品	企業 URL
(株)ウェイブワン	サイクルウェア	https://www.wave-one.com/shop/
(株)日東	ハンドル、ステム	http://nitto-tokyo.sakura.ne.jp/
丸八工機(株)	バイクスタンド	https://iwa.nagoya/english
(株)テック・ワン	折りたたみ自転車	https://www.caracle.co.jp
静岡県庁	自転車観光 PR	https://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-370/rugbyworldcup2019top.html
(株)本所工研	マッドガード	https://www.honjo-mudguards.jp/
(株)三ヶ島製作所	ペダル	http://www.mkspedal.com/?q=ja
(株)ネクストスケープ	GPS 電子ロック	tokuda@nextscape.net
(一社)美しい伊豆創造センター	自転車観光 PR	https://b-izu.com/rentacycle/
(一財)沖縄観光 コンベンションビューロー	自転車観光 PR	https://okinawasportsisland.jp/
ヴェリブ・ジャポン(合同)	広告用ホイールカバー	https://www.facebook.com/profile.php?id=100057663542312
(有)ワールドサイクル	自転車アクセサリ	https://worldcycle.info/
国土交通省(自転車活用推進室)	ナショナルサイクリング ルート PR	https://www.mlit.go.jp/road/bicycleuse/good-cycle-japan/national_cycle_route/english.html
(株)オレンジフィット	チェーンオイル	https://lavaggio-cycle.com/
東京サンエス(株)	ハンドル、ステム	https://tsss.co.jp/web/

※申込順

以 上